



Juntos!!中南米対日理解促進交流プログラム
オンライン招へい（南米グループ）の記録
テーマ：持続的な環境

1. 概要

【目的】 自国での持続的な環境づくりのための取り組みや制度改善に活かすことを主目的として、本プログラムを実施しました。日本の行政や環境ビジネスの事例を知る他、日本企業と中南米諸国とのつながりを学習し、日本と中南米地域の環境問題への協力関係について考察しました。

【参加者】 テーマに関連した省庁の行政官・専門家 計 10 名（アルゼンチン、ウルグアイ、エクアドル、パラグアイ、ボリビア）*五十音順

【訪問地】 東京都、北海道、宮城県、兵庫県

【日程】

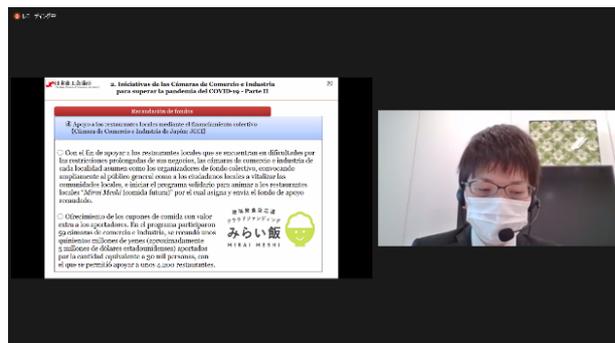
日時 (日本時間) 訪問地	内容	参加者の質問・反応
事前プログラム		
2021 年 3 月から本プログラム終了まで	【動画視聴】 1. 事前オリエンテーション 2. 南三陸町からのメッセージ	事前プログラム開催期間前から日本や事前プログラムに関する動画が配信されており、参加者は動画を視聴してから事前プログラムに参加しました。
2021 年 3 月 30 日 (火) 9:00~9:45 東京都	【ウェビナー・質疑応答】 「日本における中南米外交」 講師：外務省中南米局中米カリブ課長 正本 謙一氏 1. 講義 2. 質問への回答	参加者からは「日本と中南米地域の友情の絆について考える機会となった」等の声があがり、今後のプログラムへの意欲を新たにしました。
2021 年 4 月 27 日 (火) 9:00~10:00 東京都	【ウェビナー・質疑応答】 日本商工会議所・東京商工会議所 1. 講義 「コロナ禍での日本での商工会議所の活動と役割」 講師：産業政策第一部	参加者からは「日本の文化の素晴らしさや、様々な課題に対処する有益な情報を知ることができ、両国の友情の絆が強まることにもつながりました」といった声が挙がりました。

	<p>課長 石井 豪氏 副主査 姫野 裕太氏</p> <p>2. 質疑応答 3. 参加者間での意見交換</p>	
<p>2021 年 5 月 11 日 (火) 9:00~10:00 北海道</p>	<p>【日本文化体験】坐禅体験</p> <p>1. 「峯光寺」の紹介、小野隆見副住職の挨拶 2. 仏教や坐禅についてのお話し 3. 坐禅の方法についての説明・実演 4. 参加者の坐禅体験 5. 質疑応答・感想</p>	<p>住職の身に着けている装束に意味があるかといった質問や、坐禅体験は美しく、日本の文化をより深く知る機会になったといった声が多数ありました。</p>
<p>2021 年 5 月 27 日 (木) 9:00~10:45 宮城県 南三陸町</p>	<p>【南三陸町 (被災地交流)】</p> <p>1. 講師の紹介 2. 南三陸町観光協会による南三陸町概要・被災当時の状況についての説明 3. 講師との意見交換会 4. 感想共有</p>	<p>「被災して、家も友人や家族も何もかもが無くなり、地域から離れ、投げ出されたくなかったのか」といった質問や「『まずは自分の身を守る』という教訓は、自分をはじめ家族や周りの人々、コミュニティを助けることを知って、非常に印象深かった」といった感想がありました。</p>
<p>事前プログラム終了後から本プログラム終了まで (6 月から 8 月までの間に公開)</p>	<p>【動画視聴】</p> <p>1. 日本理解講義 2. ホームビジット体験 3. 日本文化理解 (京都) 4. 広島ピースツアー 5. 愛知の魅力～産業、最先端技術～</p>	<p>事前プログラム開催期間終了後から本プログラム開始前までに日本やプログラムに関する動画を配信し、参加者は動画を視聴してから本プログラムに参加しました。</p>
本プログラム		
<p>2022 年 3 月 2 日 (水) 9:00~10:30 東京都</p>	<p>【オリエンテーション】 【アイスブレイク】 【参加者意見交換】</p>	<p>オリエンテーションで初めて得る情報も共有されました。特に課題に関することでは、どのような切り口でいつまでに作成するかなど熱心に質問が出されました。</p> <p>全体説明後はグループごとに参加者間交流の自己紹介場が設けられ、参加の動機や日本との関りなど意見交換が活発になされました。</p>
<p>2022 年 3 月 9 日 (水) 9:00~ 11:30</p>	<p>【ウェビナー・質疑応答】 「コーヒーから考える SDGs」 講師：UCC ホールディングス株式会社</p>	<p>SDGs についての知識がなかった参加者にとって、日常的に飲んでいるコーヒーが切り口となった今回の講</p>

<p>兵庫県</p>	<p>社サステナビリティ推進室 願能 千瑛氏</p> <p>1. 講義 2. 質疑応答</p> <p>【日本人学生との交流】 講義の振り返り 【参加者意見交換】振り返り</p>	<p>義はとても興味深いものとなりました。「SDGs を企業目標といかに結び付けているかを知った事がとても印象的」「日本の SDGs 達成度を知り、日本が目標達成に向けて重点を置いている事に刺激を受けた」とのフィードバックがあり、SDGs に向けての日本企業の取組を理解することができました。</p>
<p>2022 年 3 月 10 日（木） 9:00~11:30 東京都</p>	<p>【ワークショップ・日本人学生との交流】</p> <p>1. プレゼンテーションの発表 「日本の魅力や強み、身近にある中南米とのつながり」</p> <p>2. 感想発表、意見交換 【参加者意見交換】 アクション・プラン発表準備</p>	<p>日本の大学生及び大学院生による日本の魅力紹介にインスピレーションを受けました。日本の学生の発表の後、参加者は「宮崎駿監督のアニメ作品や、近代の漫画アニメ文化と日本伝統文化と呼ばれるものの共存について世代間意識に差があるか」という質問をしました。</p>
<p>2022 年 3 月 11 日（金） 9:00~10:40 東京都</p>	<p>【ウェビナー・質疑応答、交流】</p> <p>1. 開会 2. 講義（浮世絵実演、工房見学、浮世絵作品紹介） 「レクチャー『江戸木版画』」 講師：株式会社高橋工房 代表取締役 高橋 由貴子氏</p> <p>3. グループディスカッション 4. 質疑応答 5. まとめ、講評</p>	<p>工房内の摺師の作業工程や作品への関心が高く、画面を見ながら熱心に説明を聴講しました。グループ鑑賞時は、一つの絵からできるだけ多くの情報を読み取ることを意識して、描かれた要素を分析していました。浮世絵の鑑賞を通じて日本の伝統文化への理解を深めました。</p>
<p>2022 年 3 月 12 日（土） 9:00~11:00 東京都</p>	<p>【ワークショップ】 【報告会】</p> <p>1. 参加者による発表 2. 講評</p>	<p>プログラム参加後 3 か月以内に実施するアクション・プランについてグループごとに発表しました。この日は南米グループと SICA・キューバグループが発表を行いました。</p>

2. 記録写真

事前プログラム



2021年3月30日【Juntos!!中南米対日理解促進交流プログラム概要説明】

2021年4月27日【ウェビナー・質疑応答】
日本商工会議所の講義の様子



2021年5月11日【日本文化体験】
座禅の方法についての説明・実演

2021年5月27日【南三陸町（被災地交流）】
南三陸町概要・被災当時の状況についての説明

本プログラム



2022年3月2日【オリエンテーション】
お互いに意見を述べ合う参加者

2022年3月9日【テーマ関連講義】
UCC 社の持続的な環境を意識した事業活動の紹介



2022年3月10日【参加者間交流】
派遣プログラムの参加学生と招へいプログラム
参加者 (1)



2022年3月10日【参加者間交流】
派遣プログラムの参加学生と招へいプログラム
参加者 (2)



2022年3月11日【ウェビナー・質疑応答、交
流】
浮世絵「神奈川沖浪裏」摺り作業のバーチャル
ツアーの様子



2022年3月11日【日本文化体験】
浮世絵工房の講師と笑顔で記念撮影をする様子



2022年3月12日【報告会】
日本のスマートシティ構想に着目し、発表を实
施する参加者

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ エクアドル 社会人

日本がラテンアメリカ及びカリブ海地域の国々と協力し、どのように数百万人の人々に利潤をもたらしてきたかを知ることができる、素晴らしい経験でした。

◆ ウルグアイ 社会人

「Juntos!!」のプログラムは、日本文化を知りラテンアメリカと日本の外交関係を強化するためには絶好の素晴らしい機会だと思います。プレオンライン交流プログラムは非常に有益で充実しており、現在実施されている外交計画とその重要性についてよく理解できました。この Juntos!! プログラムに参加することができ、大変嬉しく、感謝申し上げます。

◆ ボリビア 社会人

外務省と商工会議所の講義は大変良い経験になりましたが、何より日本の商工会議所の状況を知ることができ、ラテンアメリカ地域からの他の参加者と意見交流ができたのがとても嬉しかったです。

◆ アルゼンチン 社会人

このプログラムに参加できて、素晴らしい経験をしています。日本について知らなかったいくつもの側面を学んでいます。

◆ ボリビア 社会人

日本に行きたい、日本文化や人々とふれあいたいという気持ちがさらに強くなりました。日本だけでなく、ラテンアメリカ及びカリブ海地域の人々との交流が生まれ、見聞を広めることができるため、素晴らしいプログラムだと思います。

◆ ウルグアイ 社会人

日本の文化や現状、ラテンアメリカ及びカリブ海地域との関係などを学び、現地の方々と交流できる、訪日前の交流としては最適な形だと思います。

◆ エクアドル 社会人

同時通訳で実施して頂いたことは素晴らしかったと思います。おかげさまで私の日本に関する知識は増えました。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ UCC ホールディングス株式会社

中南米はコーヒーと関わりが深く、そのような国からの参加者やそのような国に興味のある日本の学生から話を直接聞けることができ、とても嬉しく思っております。

◆ 協力団体担当者

浮世絵を題材にしたグループディスカッションでは、日本人の私たちでは気づかないような視点を知れてとても感心したほか、参加者の皆さんが積極的に講師とコミュニケーションを取っている姿が印象的でした。

5. 参加者の対外発信、報道記事

<p>Feliz de haber sido seleccionado para participar del programa #Juntos!! Japan-Latin America and the Caribbeann Exchange Program.</p>	<p>Gracias a #JICE por aceptarme para participar en el programa #Juntos!! encantada con la charla de hoy y los intercambios que vendrán 😊 #japon JICE's International Exchange Programs Juntos!! Japan-Latin America and the Caribbean Exchange Program Alumni</p>
<p>2021年3月30日 (Twitter) #Juntos!! ラテンアメリカ・カリブ海地域対日理解促進交流プログラムの参加者に選ばれて幸いです。</p>	<p>2021年3月30日 (Facebook) #JICE、#Juntos!! プログラムに参加させてくれてありがとうございます！今日のトークと、これからの交流を楽しみにしています。</p>
<p>Excelente presentación de la Cámara de Comercio e Industria de Japón! Y gran intercambio con Maria de Bolivia, Gabriela de Paraguay e Isabel de Ecuador en el programa #Juntos!! JICE's International Exchange Programs Juntos!! Japan-Latin America and the Caribbean Exchange Program Alumni #JICE #japon</p>	<p>El Programa de intercambio !!Juntos!! Japón-Latinoamérica y el Caribe es una iniciativa del Gobierno de Japón implementado por su Ministerio de Relaciones Exteriores, lanzado en el año 2015, cuyo fin es promover el entendimiento de Japón en Latinoamérica y el Caribe, y profundizar el desarrollo de las relaciones basadas en un amplio entendimiento mutuo.</p> <p>Juntos!! Plantea la creación, consolidación y profundización de los lazos entre Japón - Latinoamérica y el Caribe, con el propósito de constituir a Japón como un socio estratégico imprescindible en la región, por medio de un intercambio recíproco, recurrente y sostenido. Está dirigido a estudiantes de grado y posgrado, así como profesionales de diversas áreas y especialidades que puedan contribuir en el fortalecimiento de las relaciones entre Japón, América Latina y el Caribe.</p> <p>Para fortalecer las relaciones bilaterales entre Japón y Bolivia se participara a través de intercambio de experiencias, compartir similitudes que puedan existir entre las dos naciones, de esa manera se puedan fortalecer la cooperación Técnica para Bolivia y fortalecer los vínculos de amistad en Latinoamérica y el Caribe. Juntos podemos construir un mejor futuro para nuestras naciones.</p> <p>#JICE #JAPAN #JUNTOS!! #vmabccgdf</p> <p>翻訳を見る</p> 
<p>2021年3月30日 (Facebook) 日本商工会議所の素晴らしいご講義でした。そして Juntos!! プログラムの中で、ボリビアのマリア、パラグアイのガブリエラ、エクアドルのイサベルと素晴らしい交流ができました。</p>	<p>2021年4月15日 (Facebook) Juntos!!中南米対日理解促進交流プログラムは、日本政府が主導し、日本の外務省が実施するものであり、中南米及びカリブ海地域における日本への理解を促進し、幅広い相互理解に基づく関係の発展を深めることを目的として、2015年に発足しました。 Juntos!! は、日本と中南米及びカリブ海地域間の関係の構築、強化、深化を提案し、相互的、反</p>

	<p>復的、持続的な交流を通じて、日本をこの地域の重要な戦略的パートナーとして確立することを目的としています。日本と中南米及びカリブ海地域との関係強化に貢献できる大学生・大学院生、および様々な分野・専門職の方々を対象としています。</p> <p>日本とボリビアの二国間関係を強化するため、経験の交換を通じて参加し、両国の間に存在する類似点を共有することで、ボリビアへの技術協力を強化し、ラテンアメリカとカリブ海諸国における友好の絆を強めていく所存です。私たちは一緒なら、それぞれの国のより良い未来を築くことができます。</p>
<p>" Zazen (meditación Zen)" " Shhh... Un momento de silencio frente a la pantalla..." Continuando con las actividades del Programa de Intercambio Japón América Latina y el Caribe #Juntos!!, hoy tuve la oportunidad de participar y practicar la meditación Zen con integrantes de los países de América Latina y el Caribe. #seguimosjuntos. El Za es la posición del cuerpo y el zen, la de la mente. La concentración pura en el aquí y ahora. Es, la condición natural de la existencia. Gran experiencia!!! #JICE #JUNTOS!! #JAPAN</p> 	<p>Acaba de terminar otra hermosa actividad del programa #Juntos!! Meditación Zen, algo útil y muy necesario en estos tiempos que corren</p>
<p>2021年5月11日 (Facebook) 座禅 「しー... 画面の前で一瞬の静寂を...」 #Juntos!!中南米対日理解促進交流プログラムの活動に引き続き、今日は中南米及びカリブ海地域のメンバーと一緒に座禅に参加し、実践する機会を得ました。#私たちは一緒に進もう 「座」は体勢のこと、禅は心の持ちよう。「今、ここ」に純粹に集中すること。それは、ありのままであることです。すごい体験でした!!</p>	<p>2021年5月11日 (Twitter) #Juntos!! プログラムの、また別の素敵なアクティビティに参加しました。座禅は、このような時代に有用であり、とても必要なものです。</p>

Uno de los Peores Desastres Naturales en La Historia de Japón
 A través del Programa Juntos, tuve la oportunidad de conocer un poco más lo ocurrido en marzo de 2011 en Japón, en la prefectura de Miyagi - Minamisanriku.
 En marzo de 2011, la noticia de un terremoto y una posterior catástrofe marítima en el archipiélago japonés dio la vuelta al mundo y apareció en todos los medios de comunicación internacionales. El tsunami de Japón, con olas que superaban los nueve metros, destrozó todo lo que encontró a su paso, justo después de que un terremoto de magnitud 9 en la escala Richter sacudiera el país.
 Los japoneses quedaron profundamente afectados. Las carreteras se agrietaron, los coches fueron arrojados hacia los edificios, escuelas, viviendas familiares fueron devastadas, más de 1200 personas perdieron la vida, y reparar los daños causados iba a costar millones de yenes.
 Ante tal catástrofe, es importante destacar la fortaleza de Japón para levantarse de las ruinas y restaurar las áreas afectadas por el Tsunami.
 Hoy, Minamisanriku luce como una gran ciudad nueva, restauraron la zona con nuevas viviendas, carreteras, centros comerciales, los pobladores de Minamisanriku recuerdan el Tsunami como una experiencia donde el ser humano puede salir de la adversidad con la solidaridad y apoyo mutuo.
 #JICE #JAPAN #JUNTOS!! #seguimos juntos



Minamisanriku es una ciudad localizada en la prefectura de Miyagi, Japón. El 2011 la ciudad fue azotada por el tsunami más poderoso de la historia de Japón. Un terremoto de magnitud 9,0 provocó olas que inundaron más de 200 millas de costa, con consecuencias fatales en 18.500 personas y provocando un desastre nuclear en la planta nuclear de Fukushima que repercutió en todo el mundo. Pocos lugares se vieron tan afectados como Minamisanriku.

Diez años después: Nuevas carreteras. Nuevos ayuntamientos. Nuevos centros comerciales. Las cicatrices están desapareciendo de la costa noreste de Japón a medida que la gente se reconstruye tras el tsunami que arrasó la región hace 10 años.

Pero Minamisanriku ha decidido preservar los recordatorios del desastre del 11 de marzo de 2011, como símbolo de su capacidad de recuperación, para recordar a sus seres queridos fallecidos y como una lección para las generaciones futuras.

Los ciudadanos de Minamisanriku han compartido sus experiencias desde la tragedia del 2011 hasta la reconstrucción de su región, a través del Programa de Intercambio Japón América Latina JUNTOS, demostrando que trabajando unidos por una misma causa se pueden llegar a alcanzar grandes beneficios para la comunidad.
 #JICE #JUNTOS!! #JAPAN #seguimos juntos

2021年5月27日 (Facebook)
 日本史上最悪の自然災害の一つ
 私は、「Juntos!!」プログラムを通じて、2011年3月に日本の宮城県南三陸町で起こった出来事について、少し詳しく知る機会を得ました。
 2011年3月、日本列島で発生した地震とそれに伴う海難事故のニュースは世界を駆け巡り、海外のあらゆるメディアで取り上げられました。
 日本では、マグニチュード9の地震が発生した直後に、波高9メートルを超える津波が発生し、あらゆるものを破壊しました。
 日本人々は深く傷つきました。道路は割れ、車はビルに投げ込まれ、学校や家族の家は壊滅的な被害を受け、1,200人以上が命を落としましたし、その修復には数百万円の費用がかかると言われています。
 このような大災害に直面したとき、廃墟から立ち上がり、津波の被害を受けた地域を復興させた日本の不屈の精神に注目することが重要です。
 現在、南三陸町は、新しい住宅、道路、ショッピングセンターで復興され、まるで新しい街のようになっています。南三陸町の人々は、津波を、人間が逆境を団結と相互支援で乗り越えることができた経験として記憶しています。

2021年5月27日 (Facebook)
 南三陸町は、宮城県に位置する都市です。2011年には、日本史上最大規模の津波に襲われました。マグニチュード9.0の地震により、海岸線200マイル以上に波が押し寄せ、18,500人が死亡し、福島原子力発電所の事故が世界中に波紋を広げました。南三陸町ほど被害が大きかった地域はほとんどありません。
 10年後：新しい道、新しい町役場、新しいショッピングセンター。10年前の津波で壊滅的な被害を受けた日本の東北地方では、復興に向けて傷跡が薄れつつあります。
 しかし南三陸町は、2011年3月11日の震災の記憶を、復興へのシンボルとして、亡くなった方々への追悼として、そして後世への教訓として、保存することにしました。
 南三陸町の人々は JUNTOS!!ラテンアメリカ対日理解促進交流プログラムを通じて、2011年の悲劇から地域の復興までの経験を共有してくださいました。そして、同じ目的のために協力することが地域にとって大きな利益をもたらすということが明らかになりました。

UCC GROUP una empresa ambientalmente sostenible en Japón ..

Juntos!! Japan-Latin America and the Caribbean Exchange Program Alumni

JICE's International Exchange Programs



YOUTUBE.COM
UCC Sustainability | Brewing For The Future

Gracias a Juntos!! Japan-Latin America and the Caribbean Exchange Program Alumni y JICE's International Exchange Programs he podido conocer Ukiyo-e : Una compleja técnica japonesa de pintura sobre papel..



YOUTUBE.COM
Ukiyo-e - Estampas japonesas

2022年3月11日 (Facebook)

日本の UCC グループは、環境的に持続可能な会社です。

2022年3月11日 (Facebook)

Juntos!!中南米対日理解促進交流プログラム、ありがとうございました。浮世絵という、日本独自の複雑な技術を駆使して紙に絵を表現する芸術について知ることができました。

HOME > 体験レポート > 「Juntos!!中南米対日理解促進交流プログラム」実施レポート

2021年6月14日

「Juntos!!中南米対日理解促進交流プログラム」実施レポート

■実施概要

【団体】 外務省が推進し、JICE（一般財団法人日本国際協力センター）が実施する「Juntos!!中南米対日理解促進交流プログラム」参加者の皆様
【日時】 2021年5月27日 9:00~10:45
【人数】 47名

■Juntos!!リアルタイム交流会の様子

南三陸町では、日本国内にかかわらず、海外の方々とも交流を行い、多くの縁を繋ぎました。

今回、一般財団法人日本国際協力センター（以下JICE）様主催の下、中南米にお住まいの方々や南三陸町の復興の担い手たちが、ZOOMを使ったリアルタイム交流会を行いました。

初めに一般社団法人南三陸町観光協会事務局長の及川より、南三陸町の概要をご説明しました。英語に翻訳したデータや写真を共有し、南三陸町の震災時の状況や復興の様子をお伝えしました。



その後、10グループに分かれて交流を行いました。今回、南三陸町の講師として参加されたのは行政、観光、福祉など、それぞれの分野で活躍されている10名の方々。講師の方から、自身の震災時の経験や現在行っている活動について説明していただいたり、意見交換に入りました。

2021年6月14日 南三陸町観光協会

（中略）南三陸町の講師として参加されたのは行政、観光、福祉など、それぞれの分野で活躍されている10名の方々。講師の方から、自身の震災時の経験や現在行っている活動について説明していただいたりから、意見交換に入りました。

今回 JICE 様主催の交流会に参加された方々は、中南米で行政や教育、報道に携わる方々です。そのため、南三陸町での防災対策や行政の取り組みに対して、自分の国にはどう生かせるか、という視点でお話を聞いている様子でした。

震災当時、南三陸副町長を務めていた遠藤健治さんのグループでは、防災についての意見交換が行われました。町の職員として被災者の対応や復旧に携わってきた遠藤さん。南三陸町は1960年のチリ地震の津波を経験したことから、行政はかなり高い水準の防災対策を講じてきたそうです。しかし、東日本大震災では、想定して

	<p>知識のほか、生産国の貧困解決や環境問題への取り組みをクイズや動画を交えて紹介。「今後もコーヒー産業の発展に貢献し、世界を笑顔にしたい」とアピールした。参加者は、質問や現地のコーヒー栽培事情の報告、感想などを述べ合った。</p>
--	--

6. 最終報告会でのアクション・プラン発表

グループの活動計画	
	<p>タイトル： 「日本における持続可能な環境の為の行動」</p> <p>サブタイトル： 「アジアで SDGs の実践が最も進んでいる国、日本」</p> <p>三部から構成されるグループの研究内容を課題であるアクション・プランとして作成のうえ発表しました。</p> <p>Juntos!! プログラム上の南米の陣に与えられたテーマを鑑みて調べた、日本における官民の SDGs の実践事例をもとに、今後三か月以内に各自が各国で実践する活動について、別課題として個人アクション・プランを作成、紹介しました。</p> <p>グループ研究の内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 日本を代表する企業による持続的な環境のための取り組み事例（トヨタ、パナソニック、ソニーの各社） 2) 固形廃棄物の処理並びに活用方法 3) 「もったいない」精神の紹介

個人アクション・プラン

Importancia del Reciclaje en Japón

- ▶ Japón cuenta con una clara legislación ambiental, que hasta cierto punto ha obligado a los diferentes actores a tomar acciones para la protección y recuperación del medio ambiente, haciendo un uso responsable de los recursos y dando tratamiento apropiado a los residuos sólidos y líquidos. Los gobiernos locales con el apoyo del gobierno central hacen inversiones impresionantes para el desarrollo de tecnología para la disposición final de residuos, reciclaje, la reutilización de los residuos tanto sólidos como líquidos.



Mi Plan de Acción

¡Haga el favor de implementar Plan de Acción después del programa!

Grupo: D Nombre de país: Latinoamérica País : Paraguay Nombre: Gabriela

Nombre del proyecto: El éxito de la diplomacia gastronómica y cultural japonesa en Asunción

Por qué : (¿Por qué va a implementar este proyecto?/Objetivo del proyecto)

Particularmente considero que la gastronomía dice mucho de un país ya que el sentido del gusto genera mucha satisfacción cuando se consume algo considerado delicioso y más aún al ser una comida extranjera. Es un medio muy efectivo de plasmar una cultura extranjera adaptada en los nacionales de otro país. Además lo visual desde hace años tiene una tendencia importante a través de su difusión por televisión o películas como los anime.

Cuándo : (Haga el favor de establecerlo dentro de 3 meses tras haber terminado el programa.)

Desde el 10 de marzo al 15 de abril.

Quién : (¿Quién lo va a implementar?) Gabriela Robertti

Para quién : (¿Para quién va a implementarlo?)

Connacionales, colegas de trabajo, colegas internacionales, familia y amigos personales.

Qué : (¿Qué va a hacer concretamente?) La promoción de diferentes restaurantes y/o platos japoneses a través de las redes sociales o compartiendo personalmente si es posible en atención a las medidas de seguridad que existen en Paraguay en razón del Covid-19.

Cómo : (¿Cómo va a implementar el proyecto?) A través de la promoción personal y/o por redes sociales.

*Haga el favor de entregarnos la Hoja de Plan de Acción el Día 4 mediante el link abajo indicado.

https://icce1my.sharepoint.com/:Fg/person/matsuda_yukino_itce/EfHgaAfGdKtVU5GQg5y8KuzGHZioRvU1T7vGZA7Pq?csu=4Wz

Mottainai, la filosofía del residuo cero



- ▶ Japón es el segundo productor mundial de residuos plásticos per cápita, después de Estados Unidos, por lo tanto, se ha propuesto reducir su producción de este tipo de residuos en un 25 % para 2030, y llegar a reciclar o reutilizar por completo todos esos desechos, incluidos componentes usados en electrodomésticos y automóviles, para 2035.
- ▶ En términos formales 'Mottainai' es un adjetivo que sirve para expresar un estado negativo o de pena cuando un objeto o recurso no se utiliza suficientemente, su significado sería similar a ¡que desperdicio! o ¡que pena! cuando se echa a perder algo útil y valioso, como el tiempo o la comida.

【エクアドル社会人の場合】

- 実施名称 : 日本の技術開発についての発信
- 実施理由 : 個人の SNS を使って日本の技術的な進展に関する情報を広めたいため。
- 実施時期 : 2022 年 4 月から 6 月
- 実施する者 : 参加者本人
- ターゲット : SNS の一般ユーザーで対象を絞らず、友人の友人まで幅広く情報を届けます。
- 実施計画 : 写真や動画、コメントを投稿します。
- 実施方法 : ネットユーザーが関心を寄せてくれるよう、デジタル情報を駆使して交流形式で発信してゆきます。

【パラグアイ社会人の場合】

- 実施名称: アスンシオンにおける食・文化外交の成功
- 実施理由 : パラグアイで食はとても重要視されています。美味しい食べ物からは満足感を得られ、それが外国の食べ物であると感動もより一層です。ある国に適応した外国文化に形を与える手段としては、食はとても有効な手段です。食は、テレビ、映画、アニメを通じて何年も前から視覚的にも普及してきました。
- 実施時期 : 3 月 10 日から 4 月 15 日まで
- 実施する者 : 参加者本人
- ターゲット : パラグアイ国民、職場の同僚、海外の仕事仲

	<p>間、家族、友人</p> <p>活動内容及び活動方法：SNS を通じて日本食レストランや和食メニューを紹介します。同時に、国の新型コロナウイルス感染症対策を施したうえで個人的に対象者に食文化を伝えます。</p> <p>【ボリビア社会人の場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 実施名称：経済、社会、環境分野での日本とボリビアのつながりについての普及活動 ■ 実施理由：経済社会環境分野における日本とボリビアの協力関係の特徴を、両国の交流経験を通じて広く知ってもらうため。 ■ 実施時期： 2022 年 4 月から 6 月 ■ 実施する者： 参加者本人 ■ ターゲット： 仕事仲間、友人、家族 ■ 実施内容： 画像、写真、動画にコメントをつけて発信します。 ■ 実施方法： 情報は各種 SNS (Facebook, Instagram, Twitter) の個人アカウントを通じて、できる限り多くの人に届けます。
--	---

実施団体名：一般財団法人日本国際協力センター (JICE)